

2024 年 8 月

2023 年度（令和 5 年度）

港湾厚生関連施設

事業報告書

指定管理者

一般社団法人 横浜港湾福利厚生協会

<事業報告>

- 1 利用実績（利用者数等）
- 2 管理業務の実施報告
- 3 利用状況分析報告
- 4 利用者アンケートの結果及び対応状況
- 5 収支決算書
- 6 自主事業の実施状況に関する事項
- 7 研修等の計画・実施
- 8 自己評価について
- 9 その他

1 利用実績（利用者数等）

（１）食堂利用者数

単位：人

港湾厚生関連施設名	2023 年度	2022 年度	増△減	備考
山下ふ頭港湾厚生センター（本館）	78,169	80,235	△2,066	山下ふ頭
大黒ふ頭港湾厚生センター	89,892	85,069	4,823	大黒ふ頭
大黒ふ頭レストハウス	71,625	73,289	△1,664	〃
出田町ふ頭港湾厚生センター	84,594	71,431	13,163	出田町ふ頭
本牧ふ頭港湾厚生センター	59,696	59,758	△62	本牧ふ頭
港湾労働者本牧ふ頭厚生施設	4,267	4,165	102	〃
本牧ふ頭B 突堤厚生施設	26,341	25,991	350	〃
計	414,584	399,938	14,646	

（２）売店利用者数（直営店）

単位：人

港湾厚生関連施設名	2023 年度	2022 年度	増△減	備考
本牧ふ頭港湾厚生センター	418,902	412,639	6,263	本牧ふ頭

※出田町ふ頭港湾厚生センターの売店は 2023 年 3 月 31 日をもって営業終了

（３）会議室利用件数

単位：件

港湾厚生関連施設名	2023 年度	2022 年度	増△減	備考
横浜市港湾労働会館	3,153	3,255	△102	

※2022 年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、横浜市の対応方針に基づき利用人数の制限を実施（2023 年 5 月まで）

2 管理業務の実施報告

（１）施設及び敷地の使用許可に関する業務

単位：件数

港湾厚生関連施設名	使用許可関係				工作物関係		自動車保管場所関係	
	使用申請	使用許可	変更申請	変更許可	設置・変更申請	設置・変更許可	使用申請	使用許可
山下ふ頭港湾厚生センター（本館）	2	2						
山下ふ頭港湾厚生センター（別館）	2	2						
大黒ふ頭港湾厚生センター	4	4						
大黒ふ頭レストハウス	4	4						
出田町ふ頭港湾厚生センター	1	1						
横浜市港湾労働会館	11	11					6	6
本牧ふ頭港湾厚生センター	1	1						
港湾労働者本牧ふ頭厚生施設	1	1						
本牧ふ頭B 突堤厚生施設	1	1						
計	27	27					6	6

(2) 施設、設備及び敷地の保守管理に関する業務

基本協定書第9条2項の別紙3「仕様書」に記載されている「4 港湾厚生関連施設の管理に関する業務の基準」に基づき、必要な維持管理業務の経費節減と中長期的な費用対効果の向上を重視して、常に精査し、効率的な業務の推進を図りました。

保守管理の詳細については、「指定管理月報」にて報告しております。

横浜市港湾労働会館にて横浜市の「新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対応方針」に基づき会議室の定員を通常の7割程度に制限して営業していましたが、2023年5月8日より会議室の定員の制限を解除し営業いたしました。

3 利用状況分析報告

(1) 食堂利用者数

新型コロナウイルス感染症5類移行後も一部店舗では依然として利用者の減少が続いているものの、食堂全体の利用者は回復傾向にあり、前年度より14,646人増となりました。

(2) 売店利用者数

新型コロナウイルス感染症5類移行後、売店の利用者は回復傾向にあり、売店全体で前年度より6,263人増となりました。

(3) 会議室利用件数

新型コロナウイルス感染症5類へと移行した2023年5月8日より会議室の定員の制限を解除しましたが、コロナ禍で減少した利用件数は回復に至らず、また、夜間の会議室の利用が減少傾向にあったため、前年度より102件減となりました。

4 利用者アンケートの結果及び対応状況

2024年1月から2月にかけて実施しました。

全体的に満足の評価を多く、特に清掃に対しては今年度も高評価をいただいております。引き続き清潔で快適な施設を維持し、多くの利用者に満足いただくよう努めてまいります。

アンケート集計結果は、「指定管理月報」にて報告しております。

5 収支決算書
別紙のとおり

6 自主事業の実施状況に関する事項

(1) グリストラップ槽清掃（簡易清掃）

実施施設：給食センター、全食堂

(2) AED（自動体外式除細動装置）

実施施設：山下ふ頭港湾厚生センター本館・別館、大黒ふ頭港湾厚生センター、
横浜市港湾労働会館、本牧ふ頭港湾厚生センター

※全施設で救命活動はありませんでした。

(3) 玄関マット

実施施設：山下ふ頭港湾厚生センター本館・別館、大黒ふ頭港湾厚生センター、
横浜市港湾労働会館、本牧ふ頭港湾厚生センター、本牧ふ頭 B 突堤厚生施設

(4) 洋式トイレの便座クリーナー

実施施設：山下ふ頭港湾厚生センター本館・別館、横浜市港湾労働会館、
本牧ふ頭港湾厚生センター

(5) 防犯カメラ

実施施設：山下ふ頭港湾厚生センター本館・別館、横浜市港湾労働会館、
大黒ふ頭港湾厚生センター、本牧ふ頭港湾厚生センター

(6) 機械警備の実施

実施施設：山下ふ頭港湾厚生センター本館・別館、大黒ふ頭港湾厚生センター、
大黒ふ頭レストハウス、本牧ふ頭港湾厚生センター

(7) インターネット接続サービスとして利用できる無料 Wi-Fi 設備の設置

実施施設：山下ふ頭港湾厚生センター本館、横浜市港湾労働会館、
大黒ふ頭港湾厚生センター、本牧ふ頭港湾厚生センター

(8) その他

港湾労働者の福利厚生事業や労働組合活動並びに横浜市主催・協賛のイベント等において、施設の無償貸付及び開放を行い、利用促進を積極的に行いました。

日付	港湾厚生関連施設名	イベント名	貸出・開放施設
4月18日	山下ふ頭港湾厚生センター本館	健康診断（港湾）	会議室
6月16日	山下ふ頭港湾厚生センター本館	健康診断（港湾）	〃
10月1日	山下ふ頭港湾厚生センター本館	労働組合定期大会（港湾）	〃
10月15日	山下ふ頭港湾厚生センター本館	労働組合定期大会（港湾）	〃
10月22日	山下ふ頭港湾厚生センター本館	労働組合定期大会（港湾）	〃
7月22日	横浜市港湾労働会館	労働組合定期大会（港湾）	〃
8月31日	横浜市港湾労働会館	労働組合定期大会（港湾）	〃
9月4日	横浜市港湾労働会館	労働組合定期大会（港湾）	〃
9月9日	横浜市港湾労働会館	労働組合定期大会（港湾）	〃
9月28日	横浜市港湾労働会館	労働組合定期大会（港湾）	〃
9月30日	横浜市港湾労働会館	労働組合定期大会（港湾）	〃
10月15日	横浜市港湾労働会館	労働組合定期大会（港湾）	〃
10月21日	横浜市港湾労働会館	労働組合定期大会（港湾）	〃
10月22日	横浜市港湾労働会館	労働組合定期大会（港湾）	〃
10月29日	横浜市港湾労働会館	労働組合定期大会（港湾）	〃
11月13日	横浜市港湾労働会館	労働組合定期大会（港湾）	〃
12月3日	横浜市港湾労働会館	労働組合会議（港湾）	〃
計		17件	

7 研修等の計画・実施

(1) 食品衛生講習会の開催

衛生意識の向上と食品事故等の防止のため、中福祉保健センターから講師を招き、各店舗の食品衛生責任者を中心に「食品衛生講習会」を開催しました。

開始日時：2023年6月30日（金）15時00分～

開催場所：山下厚生センター別館 4階会議室

受講者数：30名

講習内容：食中毒予防・食品の衛生等について

(2) 避難訓練の実施

災害発生時における初動対応の確認と防災意識向上のため、避難訓練を実施しました。

日付	開催場所	参加人数	訓練内容
9月19日	山下ふ頭港湾厚生センター本館	約40名	火災発生時の対応の確認、避難誘導の実施
9月20日	本牧ふ頭港湾厚生センター	約20名	〃
9月21日	山下ふ頭港湾厚生センター別館	約20名	〃
9月22日	大黒ふ頭港湾厚生センター	約20名	〃
2月26日	山下ふ頭港湾厚生センター本館	約40名	〃

8 自己評価について

新型コロナウイルス感染症5類移行後、施設利用者は回復傾向にあり、全体的に食堂と売店の利用者数は増加しましたが、会議室においては夜間の利用件数が減少傾向であったため、昨年度より減少しております。

利用者アンケートにおいては、全体的に良好な評価を頂いており、利用者のニーズに応え満足度を高める業務を適切に遂行できたと考えております。

9 その他

前年度に引き続き、省エネルギーへの取り組みの一環として各施設の夏季室温を28度に保つ設定としました。

横浜市において大黒ふ頭港湾厚生センター1階売店の空調設備更新工事及び横浜市港湾労働会館の受変電設備更新工事を行いました。

指定管理施設 2023年度収支決算書

全施設

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
指定管理料	86,560,000	維持管理運営費	81,850,496
管理料	78,690,910	人件費	22,856,994
消費税	7,869,090	消耗品費、備品購入費等	391,389
		光熱水費	8,493,320
		清掃費	23,668,671
		安全管理費・設備保守点検費	17,077,543
		保険料	191,664
		小破修繕費	1,161,040
		租税公課等	405,285
		その他支出	163,636
		小計	74,409,542
		消費税	7,440,954
		自主提案事業による支出	5,930,516
		自主提案事業	5,391,378
		消費税	539,138
収入合計	86,560,000	支出合計	87,781,012
収支差額(不足額)	1,221,012		
合計	87,781,012	合計	87,781,012